

2018(平成30)年度 エリザベト音楽大学事業計画

70周年を迎えて

本学は建学の精神、教育理念の実現のために、カトリシズムに基づいた教育・研究の充実に向けて努力してきました。大学院博士課程も擁する音楽大学として、存在感のある大学として現在に至っています。

昨年は、70周年記念事業の一環としてドイツ公演を成功させました。2018年度は創立70年にあたる年として、演奏会および国際会議その他の事業を推進し、成功裏に終わらせるよう教職員が一丸となって取組めます。

経営の根幹は学生募集です。過年度以上に定員充足率を上げるよう、募集計画を緻密に立案し、教職員が連携・協力して実行します。

長期計画に基づき、学生の学びをサポートするべく学内の各施設の補修および維持管理について立案し実行します。

(1)経営面の計画

①建学の精神、教育理念の実現のために

- ・イエズス会教育方針に関する研修を実施する。
- ・学生の演奏活動等により、アジアでのイエズス会の教育活動をサポートする。
- ・70周年事業をとおして、建学の精神、教育理念の実現を図る。

②学生数確保・入学定員維持への取組み

- ・さまざまな募集活動を教職協働により取組み、入学志願者数を増やす。
- ・教職員一人ひとりが学生募集活動で協力・連携したうえで、着実に成果を上げる。
- ・新たな奨学金制度を検討していく。

③中長期計画に沿った将来計画の策定

- ・中長期計画に沿った施設・設備補修計画の修正計画を立案する。
- ・中長期計画に沿った財政計画の修正計画を立案する。
- ・西条キャンパス、学生寮のあり方に関する検討を深める。

④国際交流の推進

- ・海外の交流協定校を増やし、学生の学修の動機づけを高める。
- ・海外の交流協定校との連携事業を推進する。
- ・2018年8月ASEACCU会議の会場校としての役割を果たす。

(2)教学面の計画

①教学改革について

〔学部〕

- ・教育課程全体について、時代および学生のニーズに合わせたものにするべく検討を行う。

〔音楽文化学科〕

音楽文化専修

- ・ルーブリック評価表の内容を検討する。
- ・各領域の連携を深め、柔軟な個人指導体制を作る。

幼児音楽教育専修

- ・音楽大学の幼児音楽教育にふさわしい音楽的能力と教育理論の融合をめざして、幼児期の音楽教育に必要な「動きと音楽」をテーマとし、多角的な視点から学生の指導に取り組む。

- ・幼児、親子を対象とした社会貢献活動として音楽を楽しむ場を提供する。

(大学内、広島市植物公園、幼稚園・保育園)

音楽コミュニケーションデザイン専修

- ・社会貢献連携事業を充実させる。
- ・広島県・広島市との連携事業の企画制作に協力する。
- ・東広島市との連携事業(アウトリーチ)に協力する。
- ・「NPO法人 心豊かな家庭環境をつくる広島21」との連携事業(子ども夢コンサートプロジェクト)を実施する。
- ・三景園の季節ごとのコンサートに協力する。

[演奏学科]

- ・70周年記念の年として、定期演奏会、エリザベトコンサートなど年間を通じて教員全員が参加するとともに、プログラムに旧師の作品を取入れることにより演奏会の充実を図る。
- ・新任教員を含め演奏学科教員の演奏活動を後押ししていくことにより入学志願者増加をめざす。
- ・AO特別奨学生が卒業後も演奏活動等で活躍できるよう、指導体制を強化する。

[大学院]

- ・海外(フィリピン・中国)での留学生入学試験を実施し、海外からの留学生を確保する。
- ・魅力ある修士課程・博士後期課程とするための課題と改善策を検討する。
- ・国内外から著名な演奏家を招き、公開講座・公開レッスンを実施する。
- ・海外の協定校(フィリピン・中国等)との交流活動を実施する。

② 学生生活支援について

[学生生活]

- ・各種行事をとおして、学生が主体的に活動し成長するよう啓発し、指導・支援する。
- ・学習・生活等で課題のある学生や障がい学生について、連携して支援を進める。
- ・学習面で悩みを抱えた学生の個別面談を定期的に行い、指導・支援する。

[就職・進学サポート]

- ・学生生活センター室長、教養・教職主事、キャリア支援室長、キャリアサポート委員会、学生生活担当職員が連携し、一般就職ならびにそれ以外の進路(教職、進学、留学等)についての支援を強化する。
- ・キャリア支援を強化するために、進路オリエンテーション、就職ガイダンス等を計画的に実施し、学生が年間をとおして参加しやすい工夫をする。
- ・キャリア支援のための個別面談の対応機会を増やし、貸与型奨学金受給学生および学資ローン利用学生への進路指導を強化する。

③ 国内および国際交流

[国内交流]

- ・上智大学との交流事業(学生の国内留学、交換教員企画)を継続していく。
- ・くらしき作陽大学との交流協定に基づく「ESpoir新人演奏会」を開催する。
- ・学外における留学生支援イベント等での留学生の演奏活動を支援する。

[国際交流]

- ・4月に、タイのチェンライに昨年イエズス会が設立したザビエル・ラーニング・コミュニティにおいて、大学院生が演奏会を開催する。

- ・5月に、第28回コーラスワークショップ in ひろしま「世代と国境をつなぐスペシャルコンサート」(Hawaii Education of the ARTSおよび合唱団カラフルコーラス(韓国・大邱市)ほか出演)を、本学共催でセシリアホールで開催する。
 - ・8月に、麒麟ギター音楽教室(中国・重慶市)の生徒のマスタークラスを本学で開催する。
 - ・8月に、ASEACCU(Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities/東南・東アジアカトリック大学連盟)総会および国際学生会議を、本学で開催する(学生および教職員が参加)。
- [国外交流協定校との交流事業]
- ・チュラロンコン大学(タイ)との交流演奏会を行う(4月)。
 - ・四川音楽学院(中国)におけるマスタークラスレッスン、入学試験を実施する(6月)。
 - ・サント・トマス大学(フィリピン)におけるマスタークラスレッスン、入学試験を実施(6月)。
 - ・サント・トマス大学より教員、本学修了生を招き、本学で交流演奏会を行う(11月)。
 - ・蔚山大学(韓国)との吹奏楽交流演奏会(2019年3月)を行う。
 - ・サナタ・ダルマ大学(インドネシア)における交流演奏会を行う。

④学生募集活動および広報活動について

[学生募集活動について]

- ・教職員による様々なチャンネルからの情報収集を行う。
 - 高校訪問、レスナー訪問、出前授業、高校内進路ガイダンス、楽器別セミナー、ネット媒体、各種イベント・コンクールなどから鮮度の高い情報を収集する。
- ・入学生増加をめざし、進学ガイダンスについて、より一層充実し、より効果的な方法を模索していく。
- ・募集重点エリアでの進学ガイダンスを実施する(下関、防府、福山、松山、福岡)。
- ・オープンキャンパスを年3回(6月・7月・8月)実施する。
- ・学内授業公開を実施する(10月)。
- ・ホール体験企画(演奏体験・アンサンブル体験)を実施する(12月)。
- ・スプリングフェスティバルを実施する(2019年3月)。
- ・志願者(受験見込み者)に対し実際の受験に向けてきめ細かく対応する。

[広報活動について]

- ・魅力ある情報伝達ツール(大学案内、エリザベトアイなど)を作成する。
- ・時代に対応した情報伝達媒体(ホームページ、各種SNSなど)を活用する。
- ・外部団体との良好な関係構築や深化により大学の魅力発信と情報収集を図る。
 - (広島県合唱連盟、全日本ピアノ指導者協会、全日本吹奏楽連盟など)
- ・連携協定先を含む各種団体等の主催イベントに積極的に協力する。
 - (フラワーフェスティバル、シャレオ大学生コンサート、市役所コンサートなど)

⑤教職員研修および教職員評価について

- ・教職員の評価システムの運用ルールの策定を図る。
- ・SD・FDの実質化を図る。
 - ゴーセンス記念講演研修会(4月)、教職員研修会(9月)ほかの研修計画立案・実施
- ・教職員を学外の多様な研修会へ参加させることにより、研修の機会を広げる。
- ・自己点検・FD運営委員会活動をとおり、FD活動をより活性化させる。

⑥創立75周年記念宗教合唱曲集刊行に向けて

- ・これまで委嘱した国内外の作曲家による宗教合唱曲の集大成をめざし、創立75周年記念宗教合唱曲集刊行につなげていく。
- ・初演を行った作品については、ピース版として出版を行う。

⑦演奏活動

70周年コンサートシリーズとして、本学にゆかりのある作曲家や本学の関係者による作品を演奏する。

2018年度エリザベト音楽大学コンサートスケジュール

日程	演奏会名・行事名・会場・出演者
4/27(金)	創立70周年コンサートシリーズ 器楽の夕べ(セシリアホール) フルート: 万代恵子、ギター: 上垣内 寿光 ピアノ: 喜多宏丞、山城育子、柴田美穂 ヴァイオリン: 甲斐摩耶、クラリネット: 赤坂達三 ヴィブラフォン: 小川裕雅
6/28(木)	創立70周年コンサートシリーズ 鈴木俊哉リコーダーレクチャーコンサート(ザビエルホール) リコーダー、講演: 鈴木俊哉 チェンバロ: 福原之織
8/1(水)	創立70周年コンサートシリーズ サマーヴォーカルコンサート(セシリアホール) 声楽: 林裕美子、羽山弘子、折河宏治、小林良子 エリザベト音楽大学女声合唱団・混声合唱団 指揮: 寺沢希 パイプオルガン: 福原之織
9/21(金) 予定	秋季大学院新人演奏会(セシリアホール) 秋季修了生から選抜
10/27(土)	創立70周年コンサートシリーズ 第77回定期演奏会(セシリアホール) ヴァイオリン: フィリップ・グラフアン(ブリュッセル王立音楽院教授) ピアノ: オーディションによる選抜学生 指揮: 十束 尚宏 演奏: エリザベト音楽大学交響楽団
11/10(土)	創立70周年コンサートシリーズ マーティン・ヒューズ客員教授ピアノリサイタル(ザビエルホール) ピアノ: マーティン・ヒューズ(客員教授)
11/22(木)	創立70周年コンサートシリーズ 創立70周年記念演奏会(セシリアホール) 出演: 本学演奏学科教員
12/12(水)	創立70周年コンサートシリーズ チャリティークリスマスコンサート(セシリアホール) 指揮: 井田勝大 演奏: エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団他
3/6(水) 予定	春季大学院新人演奏会(セシリアホール) 春季修了生から選抜
3/10(日)	卒業研究発表・演奏会 音楽文化学科(ザビエルホール) 春季卒業生から選抜(音楽文化学科) 卒業演奏会 演奏学科(セシリアホール) 春季卒業生から選抜(演奏学科)
3/23(土)	創立70周年コンサートシリーズ スプリングフェスティバル オーケストラ演奏会 指揮: 井田勝大 演奏: エリザベト音楽大学交響楽団

(3)管理面の計画

①中期施設設備改修計画策定

- ・施設・設備の改修優先度・費用を勘案した改修計画を立案する。
- ・教室や練習室の施設、再点検により学生の学修環境の整備を図る。

②委託業務(清掃、寮管理、西条管理、その他)の検証評価と再検討

③西条キャンパスの将来計画(土地、建物、設備)の検討

④女子学生寮(セシリアホーム)管理運営を改善

- ・学生支援の充実により寮生満足度を向上させ、入寮希望者の増加を図る。
- ・委託業者による寮母教育の充実と食堂運営の改善を図る。
- ・情報インフラの更新整備を検討する。

⑤付属音楽園・エクステンションセンター事業

- ・園生獲得の取組みを継続する。
- ・受講生が見込めるエクステンションセンター講座を開発する。

⑥財務について

- ・1号館(セシリアホール)、本館の建替えに向けての基本金積立の原資の確保に努める。
- ・良好な収支差額の維持、教育活動収支における赤字の削減を図る。

以上